

東京空襲資料展

入場無料



東京都区部焼失区域図(『東京都戦災誌』付図 1953年)

東京芸術劇場会場

《日時》平成30年

3/6(火)~3/11(日)

午前9時~午後5時

《会場》東京芸術劇場地下1階
アトリエウエスト

《主催》東京都

調布市会場

《日時》平成30年

3/2(金)~3/11(日)

午前9時~午後6時

《会場》調布市文化会館たづくり
2階南ギャラリー

《主催》東京都・調布市

武蔵村山市会場

《日時》平成30年

3/1(木)~3/14(水)

(3日、4日、10日、11日は閉庁日)

午前8時30分~午後5時15分

《会場》武蔵村山市役所
1階ロビー

《主催》東京都・武蔵村山市

東京空襲資料展

東京は昭和17年(1942)4月18日に初めての空襲を受けました。その後、昭和19年(1944)夏以降、空襲は本格化し、昭和20年(1945)3月10日、現在の墨田区・江東区・台東区を中心とする下町地区にアメリカ軍のB29爆撃機325機が来襲して大規模な空襲を行いました。この2時間余りの空襲で10万人ともいわれる尊い生命が奪われたのです。そして終戦を迎える昭和20年8月15日までに100回を超える空襲が続き、東京は焼け野原となりました。

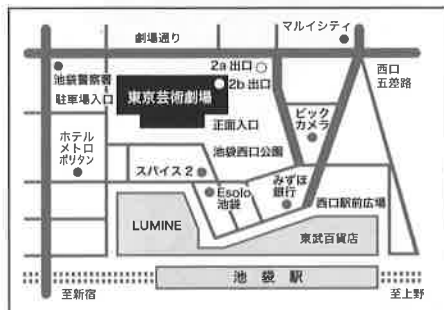
東京都は、平成2年(1990)に3月10日を「東京都平和の日」と定め、様々な記念行事を行ってき

ました。また、平成13年(2001)には都立横網町公園内(墨田区横網・旧被服廠跡ひふくしょう)に「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」を建設し、その内部には犠牲となられた方々のお名前を記した「東京空襲犠牲者名簿」を納めています。

本展ではこれら空襲で亡くなられた方々の遺品しょういだんを中心に、焼夷弾などの兵器、防空頭巾やもんぺなどの空襲下の生活を物語る資料に加え、空襲下の東京を写したパネルを展示しています。

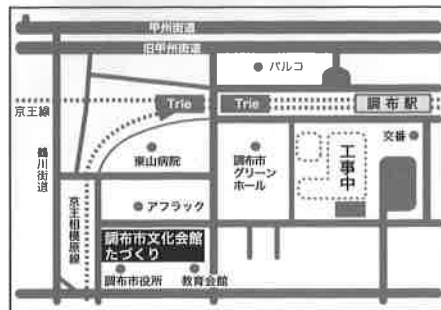
本資料展を機に、この悲惨な史実を心に刻み、二度とこのような悲劇を繰り返さないように未来へと語り継いでください。

東京芸術劇場会場



- JR山手線、東京メトロ、東武東上線、西武池袋線、「池袋駅」西口より徒歩2分。
- 池袋駅地下通路の2b出口で直結しています。

調布市会場



- 京王線「調布駅」中央口改札広場出口より徒歩4分。

武蔵村山市会場



- JR中央線「立川駅」北口から立川バス(1番のりば)「箱根ヶ崎駅」「瑞穂営業所」「三ツ藤住宅」行きにて「武蔵村山市役所前」下車 徒歩1分。
- 西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「武蔵村山市役所前」下車。
- 西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から市内循環バス(玉川上水ルート)「玉川上水駅」乗車「武蔵村山市役所前」下車。

東京都では東京空襲犠牲者名簿を作成しています

東京都では、東京空襲で犠牲となった方々を追悼し平和を願うため「東京空襲犠牲者名簿」を作成しています。名簿への登載は、遺族及び関係者などのお申し出に基づいて行います。お心当たりのある方は「東京空襲犠牲者名簿登載申出書」に記入してお申し出ください。

申請書は各展示会場にて配布するほか、下記ホームページからもダウンロードできます。

《名簿にのせる方》

- ・昭和17年4月18日から20年8月15日までの東京都内における空襲で亡くなった方(空襲による負傷等が原因で亡くなった方を含みます)。
- ・軍人、軍属だった方は、東京都戦没者霊苑(文京区春日1-14-4)において慰霊追悼していますので対象となりません。

《名簿登載事項》

【1】氏名 【2】年齢 【3】死亡年月日 【4】死亡場所(区市町村名)

《名簿への登載》

毎年12月末目までに受け付けた犠牲者のお名前を3月に名簿に追加登載します。

《名簿保管場所》

「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」の中にお納めしています。 場所：墨田区横網三丁目3番25号 都立横網町公園内

http://www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/bunka_seisaku/000000662.html